

産業機器関連事業

“カーボンニュートラル市場へのシフト”と “タンケンシールセーコウとのシナジー最大化” を推進

水素・EV・次世代電池などのカーボンニュートラル市場において、既存製品及び開発製品で参入を図ります。また、2023年度にグループ入りしたタンケンシールセーコウとのシナジー効果により競争力を強化します。



常務執行役員 営業本部長 **芹田 豊和**

事業概況

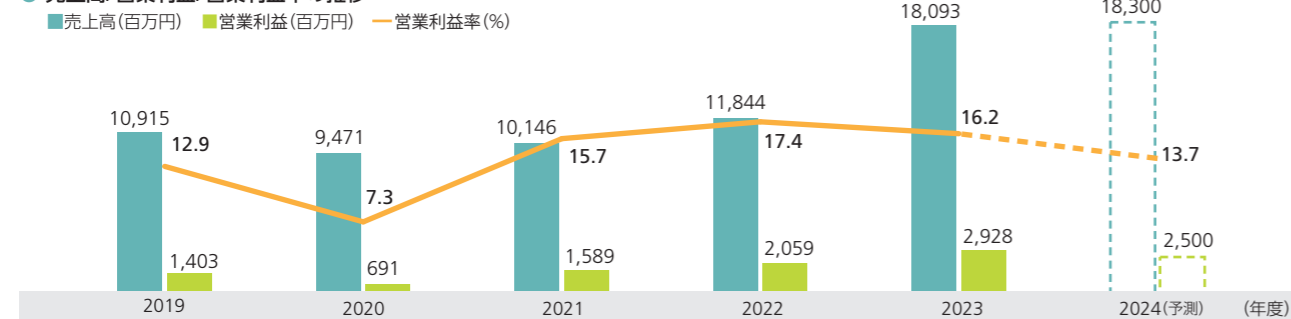
産業機器関連事業を支える主要な製品はメカニカルシール・グランドパッキン・ガスケットなどです。エネルギー・石油精製・化学・自動車・船舶・環境・上下水道設備・医療・食品などのプラントで使用される機器において、多種多様な流体を制御するシール部品としてあらゆる産業を支えています。

2023年度は増収増益かつ、売上高・営業利益ともに連続で過去最高を更新することができました。

売上高は、精密機器装置用メカニカルシールが低調だったものの、海外プラントの補修品需要、国内の原子力発電所の再稼働関連案件、石油化学市場では安全化対策設備投資などにより前期比52.8%増の18,093百万円でした。

営業利益は、2023年4月にグループ入りしたタンケンシールセーコウの予想を上回る好業績により、前期比42.2%増の2,928百万円でした。

● 売上高/営業利益/営業利益率の推移



中期経営計画「One2025」の進捗、課題、施策

①さらなる競争力向上に向けた基盤強化

生産の自動化、AI・DXを活用した開発リードタイムの短縮化などにより、各種サイクルタイムやコスト削減が着実に進んでいます。

また、タンケンシールセーコウのグループ入りにより、特に修理や予備品などのアフターサポート分野が強化されました。メンテナンススキルの向上、周辺サービス

の取り込みなどさまざまなニーズに応えることで、さらなる事業の拡大を図ります。

②既存市場・製品の強化

メカニカルシールでは、半導体市場関連に注目しています。AI等高性能チップ用途でのCMP (Chemical Mechanical Polishing) 装置用ロータリージョイントや先端パッケージング分野ではクリーン度向上を背景に新

たな機能部品のニーズが見込まれており、成長市場と捉えています。

グランドパッキンでは、欧米の規格をクリアする高いシール性能を有する製品を中心とした拡販や、性能のみならず環境対応も意識した新たな材料を採用した新製品の上市により、さらなる拡販を目指します。

③新事業の創出

2023年10月に三田工場イノベーションセンターが完

成しました。細分化した製品開発機能の集約により相互の技術の利活用を促進するとともに、産官学連携による先端技術への取り組みなどにより製品開発や研究開発のスピードアップ・強化を進めます。

PILLAR、タンケンシールセーコウ両社の技術を融合し、市場で高い競争優位性を持つ独自製品の開発に取り組んでいます。

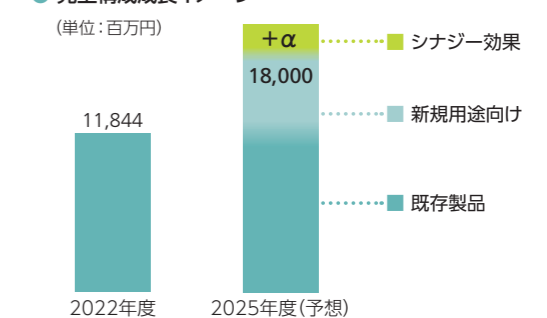
	2024年3月期の成果	今後のアクションプラン
さらなる競争力向上に向けた基盤強化	<ul style="list-style-type: none"> タンケンシールセーコウをM&Aによりグループ会社化し事業規模を拡大 技術者の英知を集結する三田工場イノベーションセンター(R&Dセンター)が竣工 生産工程の見直し他、自動化・省人化による製造コスト削減への取り組み推進 	<ul style="list-style-type: none"> クロスセル・材料一括調達などタンケンシールセーコウとのシナジー最大化を目指す AI・DXを活用した製品開発の加速化 自動化設備・システムの導入により、さらなる生産プロセス改革・効率化に邁進
既存市場・製品の強化	<ul style="list-style-type: none"> Pillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.での半導体市場向けロータリージョイント試作 メカニカルシール状態監視用IoTデバイスの開発 環境貢献型製品の開発・上市 	<ul style="list-style-type: none"> Pillar Technology (Chuzhou) Co., Ltd.におけるロータリージョイント生産体制構築 事業所統合などタンケンシールセーコウとの協働による営業活動強化 グローバル販売力の強化とプレゼンス向上
新規事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> 水素・EV・次世代電池等の市場調査と開発推進 三田工場イノベーションセンター活用による、脱炭素社会に向けたシール技術の向上 新たな保守・メンテナンス契約サービスを開始し顧客を囲い込み 	<ul style="list-style-type: none"> 液体水素環境下での試験装置導入による水素市場向け製品の開発加速 SAF*など新たな市場参入に向けた販売促進強化 電子機器関連事業で培った射出成形技術を活用したEV向け部品の開発・上市

※SAF=Sustainable Aviation Fuel(持続可能な航空燃料)

今後の見通し(展望)

脱炭素の取り組みでは、航空燃料のSAFや発電所でのアンモニア混焼など既存インフラを流用しつつ環境負荷を低減する商用ベースでの設備投資が本格的に進んできました。一方で水素を中心とした利活用や次世代電池開発の取り組みも実証ベースでの投資が進展しており、産業機器関連事業の成長領域として引き続き注力していきます。

● 売上構成成長イメージ



TOPICS

—新市場・新用途への採用実績—

持続可能な燃料として注目されているSAF燃料の海外プロジェクトに当社のメカニカルシールが採用されました。当社のメカニカルシールは国内ポンプメーカーのポンプに組み込まれており、2024年末に商用稼働を開始する予定です。さらに、当案件を皮切りに当社は国内外の5つのプロジェクトで営業活動を継続中です。

また新用途となる先端半導体市場において、パッケージ材料の製造プラントに当社のメカニカルシールが採用されました。AI向けを中心とした先端半導体分野では積層やチップレットなど後工程の技術革新が急速に進む中、当社は半導体材料の大手企業向けに国内機器メーカーを経由して、2024年3月にメカニカルシールを納入いたしました。